



Profile

●もりた・ゆか
身長165cm、最高到達点277cm
平成3年2月7日、大阪府生まれ(22歳)
牧之原市立(旧相良町立)片浜小-焼津市立豊田中学校-静岡県立島田商業高校-中京大学-岡山シーガルズ。

ポジションはセッター、背番号は「27」。利き腕は右手。早いトス回しや柔らかいハンドリング(指、手首、ひじの使い方)が武器。コートネーム(試合時のニックネーム)は「サラ」。趣味は、アクセサリーなどの小物集めで、休日は部屋で好きな音楽を聞き、ゆっくり過ごしている。静岡の緑茶が大好き。



アタッカーにトスを上げる森田選手

女子Vリーグ 岡山シーガルズ 森田結香選手

●Yuka Morita



Vリーガーとなった森田選手

諦めずに練習 すれば夢は叶う



小学生時代を市で過ごした森田結香選手が昨年11月、社会人バレーボールリーグの最高峰であるVプレミアリーグ 12/13シーズンでデビュー。静岡県内出身の現役女子Vリーガーは、森田選手ただ一人。岡山シーガルズでセッターとして活躍する彼女に、牧之原市での思い出と今後の目標について聞きました。

島田商業高校に進学し、2年のときに以前から興味があったというセッターに転向。中心選手としてチームを引っ張り、県三冠(2年秋の新人戦、春高バレー、3年高校総体)を達成した。同校は、夏・冬休みなどに高校生を対象に実施している岡山シーガルズの合宿に参加しており、森田選手は合宿で選手のプレーを見て憧れ、Vリーグ入りを目指すようになった。高校卒業時には、同チームの河本昭義監督から入団の誘いを受けたが、中京大学に進学。「冗談だ」と思い、進学を決めちゃった」と笑う。大学では入学時からレギュラーとして活躍。3年で控えに回ったものの、4年で再びレギュラーになり春と秋の大会連覇とセッター賞を獲得。再び、河本監督から声が掛かり、入団を決意をした。

「コートに立ったときは何も考えていなかったが、プレー中にVリーグの雰囲気は圧倒された。今までと雰囲気の違い、相手選手の体格やパワー、スピードなど今までの自分では全く通用しないと感じた」とデビュー戦の感想を語ってくれた。チームには、全日本の代表に選出された宮下遥選手が正セッターとして所属。森田選手は、主にピンチサパーとしての起用が多かったが、最近では出場機会が増えてきた。河本監督は、「セッターはチームの心臓。シーガルズのセッターの特性を早く理解し、周囲に気配りができる選手になってもらいたい」と期待を寄せる。

インタビュー

小学校時代の担任やスポーツ少年団での指導者に森田選手の話をお聞きしました。

全日本で活躍する選手に



6年時担任(現:牧之原小)
村井 利幸 教諭

Vリーガーになったと聞き、驚きました。男子に負けないほど運動神経が良く、陸上大会のソフトボール投げで1位になったのを覚えています。誰とでも仲が良く、積極的に明るい前向きな子でした。持ち前の明るさでチームを引っ張り、全日本で活躍する選手になってもらいたいです。

子どもたちの憧れの存在



相良VSC
太田 辰幸 代表

スポーツ少年団「相良VSC」を36年間指導しています。森田さんは、相良VSC出身者で初めてVリーガーになった選手で、子どもたちの憧れの存在です。当時から、試合の状況や相手を「読む力」が大変優れていました。チームでレギュラーとなり、ますます活躍してもらいたいです。

(取材協力)岡山シーガルズ